

地域とともに育つ コミュニティ・スクール

令和6年8月1日

成田市教育委員会

本市では、令和5年度から市立の全小中義務教育学校29校がコミュニティ・スクールとなりました。それぞれの学校で地域の実態に応じた学校の諸課題や支援等について熟議し、委員の皆様が当事者意識をもって学校運営に参画されております。

それぞれの学校で、ビジョンを委員と共有し、学校の課題や要望を学校運営協議会の議題としてあげながらその解決に向けて協議をしたり、支援について考えたりし、地域全体で地域の子どもたちを育てる体制づくりを進めております。

学校運営協議会の様子

それぞれの学校でどのような協議がされているのか、紹介いたします。

向台小学校

1000か所ミニ集会のテーマについて、協議が行われました。

●1000か所ミニ集会のテーマについて、防災関係や情報モラル、国際理解の3つを考えているが、

地域や保護者が参加してみたいと思うテーマかどうかご意見をいただきたい。

→学校の思いを大切にしながら、テーマごとに得られる良さや地域住民のメリットについての協議が行われました。

●1000か所ミニ集会の地域への周知をしていただきたい。

→回覧板、イベントでの広報なども有効、などの意見が出されました。



公津の杜中学校

自転車の乗り方や芝刈り機について協議が行われました

●生徒の自転車の乗り方について

→自転車のルールをしっかりと学ぶことの大切さや地域での声掛けについて協議を行うとともに、交通安全上の危険な箇所について共通理解を図りました。

●教育環境整備のため芝刈り機の購入を検討しているが、費用は限られるため、購入先等地域で良いところはるか

→委員からの情報提供や、実際に委員が間に入って連絡を取る等の支援の約束がありました。

